

増刊HSK

会報「石川守る会」

NO. 85

石川県重症心身障害児（者）を守る会

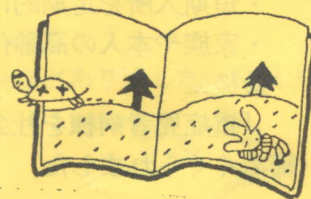
全国重症心身障害児（者）を守る会

石川県支部 会長 山本 衛

記録的な猛暑が治まったと思ったら地震、台風、豪雨と日本列島を様々な災害が襲ってきました。各地で甚大な被害が起き多数の人たちが亡くなりました。比較的被害の少なかった県内でも河川の氾濫や農作物への被害が出ました。

災害時に子ども達や自分自身の命をどう守るか考えておく必要があります。いざという時は家族や近隣の方々との連携が欠かせません。日頃からのコミュニケーションが大切だと思います。

さて、今年4月からの障害児（者）施策の見直し・変更で日中活動の充実なども盛り込まれましたが、お子様達の生活に変化は見られたでしょうか？子ども達が楽しい日々を送れるよう目配りもしていきましょう。



東海北陸ブロック大会に石川より7名参加

10月20日～21日三重県四日市市で開催された第30回東海北陸ブロック大会に石川から山本会長夫妻、東副会長夫妻、紺井事務局長、東監事、西田理事の7名で参加しました。金沢から「しらさぎ」で名古屋まで行き、近鉄に乗り換えて四日市まで行きました。

まず式典が行われ、主催者の挨拶の後三重県副知事、四日市市長の祝辞がありました。

副知事からは「障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせる三重県を目指している。在宅の障害者には専門的な相談支援体制を構築している」との話がありました。

四日市市長からは「障害者差別解消法の制定を受けて職員の対応要領を作成し全職員に対して研修を行っている」との話がありました。

記念講演 演題「重症心身障がい児者医療の課題」

国立病院機構 長良医療センター 院長 山田 堅一先生

重症児者の医療が昭和41年に全国10施設480床から始まって50年の歩みと先生が関わってこられた取り組みについて話されました。

子どもたちのケアとともに家族のメンタルヘルスが大切で献身的な家族にこそ配慮が必要であると話されました。家族を孤独にしない集いが必要であると強調されました。

また病気を治すことが使命だと考えている医師の中には「重症児者医療」に対して職業的な悲観主義に陥る人もいるとの話もありました。

東海北陸ブロック医療課長時代には医師の確保に取り組み関連大学との連携・調整をはかり、病院各職種の人を対象に「個々の特性を把握する」ための研修を実施するなどされました。

「重症児者医療」には多数の専門性が必要とされ、お互いの共通言語と評価方法が欠かせないと話されました。

今後の「重症心身障害児(者)の医療」の課題

- ・在宅生活が基本になり、かかりつけ医の役割が重要になる。

多職種で構成する訪問診療部の設置

- ・短期入所を定期的に利用する。
- ・家族や本人の高齢化にともない長期入所も視野に入れておく。

最後に

「重症児者病棟を社会から孤立させないことが重要な課題である」と締めくくられました。

第三種郵便物承認 増刊HSK通巻4871号2018年11月11日発行
本部より中央情勢報告がありました。

まず各種報酬改定の報告があり、新療報酬・介護報酬ともに改定がありました。その他の改定事項としては短期入所利用日数の見直し、支援事業所の欠席時対応加算の見直し、入院中の重度訪問介護の利用についてなどです。重症児が通所する事業所に指導員加配に対する加算も見直されました。詳しくは両親の集いをご覧ください。

文部科学省では卒業後の障害児者の学びの場を推進する会議が開催されたとのことです。東京都医療的ケア児がスクールバスに乗車できるよう2学期から看護師を添乗させるとのことです。100台の専用車両を用意し対象人数は250人だそうです。

夜は同じホテルで懇親会が開かれブロックの皆さんと交流し楽しいひとときをすごしました。

2日目はシンポジウムが開催されました。

「重症児者の暮らしを支える支援の在り方」のテーマで行政・施設・病院・教育・療育の各分野を代表する先生方から現状や今後の支援のあり方についてのお話を伺いました。

三重県障害福祉課からは県内の障害児者数や重症児者数が増加傾向であることを見据えて各種支援の充実に取り組んでいるとの報告があり、石川県でも参考にしてほしいと思いました。

感想あれこれ

- ・四日市駅では会員の方々がお揃いのジャンパーを着用して会場までの案内をしておられました。聞くところによるとボランティアさんではなくて会員だけとのことでした。“笑顔”で丁寧な対応が伝わってくる一場面でした。近々当県にも順番が回ってきます。私たちも精一杯のおもてなしでお迎えしたいものです。
- ・記念講演はもう少し時間をとって詳しく聞きたかったと思いました。
- ・懇親会でのクラシック演奏は素晴らしかったのですが、懇親会には一寸合わなかったようで演奏者の方には気の毒な気がしました。

*来年は名古屋で開催されます。みなさんで参加しましょう！

*再来年は石川が担当です。開催についてのご意見などありましたら役員までお寄せ下さい。



第三種郵便物承認 増刊 HSK 通巻 4871 号 2018 年 11 月 11 日 発行

昼食会が開かれました。！！！！

8月6日(日)かほく市のレストラン「シェ・ミノール」で久々の昼食会が開かれました。まだまだ暑い日でしたがお酒なお店で涼しげなお皿に盛られた前菜からみなさんの顔がほころびました。久しぶりの集いで入所・在宅お互いの子どもの様子を話し合ったりサービスの利用について聞きあつたりと和やかなひとときを過ごしました。帰りには当店自慢のおいしいパンまでお土産に頂き幸せな気分でした。

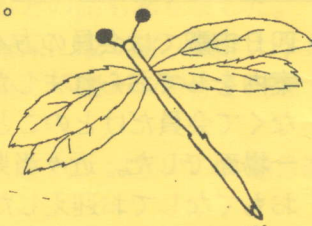


保護者研修会のお知らせ

日 時 平成 30 年 11 月 25 日 (日) 午後 1 時 30 分～3 時
場 所 医王病院 中病棟 3 階 地域医療研修室
講 師 医王病院 ソーシャルワーカー 中本 富美氏
テーマ 「つながり・つながる・つなぐ
～子どもたちから学んだこと」

医王病院で医療社会事業専門職として子ども達関わられ、私たち親の様々な相談にも応じて下さっている先生をお招きしてお話していただきます。目まぐるしく変わる医療や福祉施策にどのように対処していけばいいのか迷うことも多いこの頃です。

多数のみなさんのご参加をお待ちしています。



編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 TEL 0761-56-0610
発行人	会長 山本 衛 北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円